

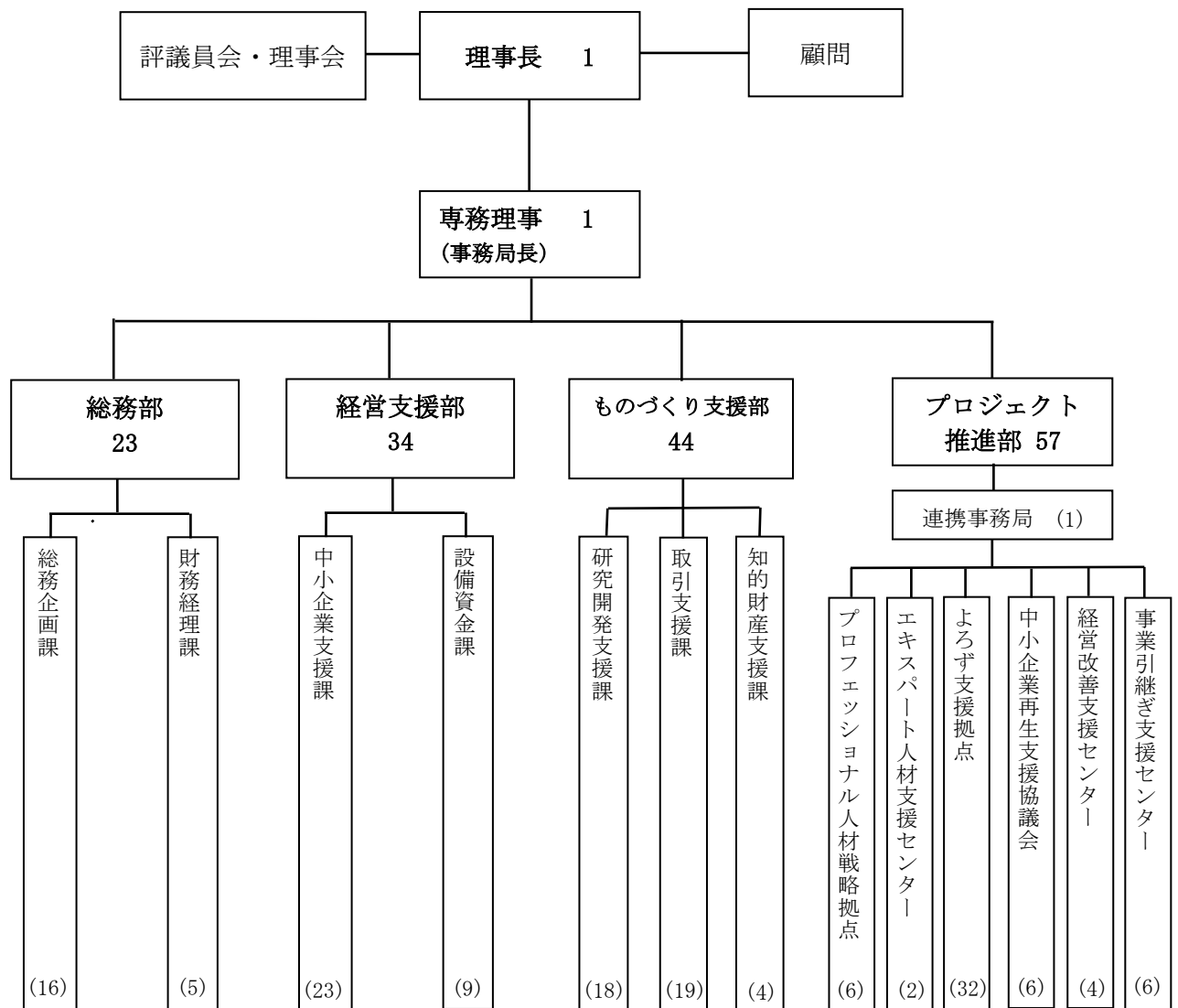
平成 29 年度

事業報告書

公益財団法人岡山県産業振興財団

I 組織図

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



○役職員数

役員(常勤)	2
プロパー	34
市・企業出向	10
期間雇用	27
県OB・専門嘱託	22
非常勤	18
派遣	18
業務委託	29
計	160人

Ⅱ 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 29 年 4 月 1 日) ※書面決議	(審議事項) 第 1 号議案 専務理事の選定について 第 2 号議案 常勤理事の報酬について
第 2 回 (平成 29 年 6 月 9 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告について 第 3 号議案 評議員選定委員の選出について 第 4 号議案 平成 29 年度第 1 回評議員会の招集について (報告事項) ・ 理事及び監事の再任及び辞任について
第 3 回 (平成 29 年 6 月 23 日) ※書面決議	(審議事項) 第 1 号議案 理事長の選定について 第 2 号議案 常勤理事の報酬について
第 4 回 (平成 30 年 3 月 12 日)	(報告事項) ・ 登記の懈怠について ・ 平成 29 年度第 1 回評議員選定委員会の結果について ・ 理事長並びに専務理事の職務の執行状況について (審議事項) 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 29 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 30 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 30 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 平成 29 年度第 2 回評議員会の招集について (その他) ・ 平成 30 年度執行体制について ・ 理事の選任について(案)

2 評議員会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 29 年 6 月 23 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告について 第 3 号議案 役員の辞任及び選任について (報告事項) ・ 評議員選定委員会の委員選出について
第 2 回 (平成 30 年 3 月 22 日)	(報告事項) ・ 登記の懈怠について (審議事項) 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 29 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 30 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 30 年度借入最高限度額について 第 6 号議案 知的総合支援窓口運営業務の実施体制及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 理事の選任について (その他) ・ 平成 30 年度執行体制について

3 監事監査

開催日	監 査 事 項
平成 29 年 6 月 5 日	平成 28 年度事業報告及び決算報告

4 評議員選定委員会

開催日	審 議 事 項
平成 29 年 8 月 30 日	(報告事項) 報告事項① 評議員の辞任について (審議事項) 第 1 号議案 評議員の選任について

Ⅲ 総括

平成 29 年度の我が国経済をみると、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかに回復していきました。また海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が改善するなど民需が上向き、経済の好循環が実現しつつあります。

岡山県においても、主要製造業の生産動向がほぼすべての業種で持ち直しが明確になるなど、相対的に好調に推移しています。一方で、求人倍率は全国平均に比べて高く、多くの中小企業では人手不足が問題になっており、生産性向上・働き方改革・人手不足対応に向けた様々な支援もスタートさせたところであり、当財団もこの動きに適切に対処するべく、新たに啓発事業等を展開しました。

当財団では、経営支援部門が、岡山県中小企業支援センター及び認定経営革新等支援機関として、専門家の活用や他の支援機関との連携を図りつつ、県内中小企業や創業予定者等が抱える経営・生産管理等の様々な経営課題の解決を支援するとともに、就労継続支援 A 型事業所の経営改善に資するためのセミナー及びモデル事例の策定にも取り組んだところであります。

また、経営革新等にチャレンジする中小企業には、経営革新計画の策定支援や計画の策定に必要な人材確保に係る支援を実施し、118 件の経営革新計画の承認に結び付けるとともに、承認後のフォローアップに係る支援も実施しました。

加えて、中小企業における円滑な事業承継に資するためのシンポジウム、研修会及び専門家派遣を実施し、事業承継における様々な段階での支援を行ったほか、後継者を対象に必要な知識習得及び人脈形成等を目的とした研修を開催しました。

ベンチャー・創業への取り組みについては、相談会やセミナー、創業に必要な知識・ノウハウを習得するための研修、金融機関や投資家とのマッチング、ビジネスプランコンテストのリニューアル及び創業者のネットワーク形成などを総合的に支援しました。

県内製品の販路開拓では、県内外バイヤーとの商談及び展示の場の提供、首都圏バイヤーとの出前商談会、大規模展示会への出展及び「岡山ビジネスサポーターズ」（首都圏在住の岡山にゆかりのある経営者等）による支援等を活用して、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化、販路開拓に努めました。また、安全で高品質な県内農林水産物や加工食品の輸出促進に向けた支援も実施しました。

設備貸与事業においては、引き続き創業者、小規模企業者及び中小企業者等に対して円滑な設備導入の支援を行いました。

ものづくり支援部門では、企業や大学等有する研究開発ニーズや技術シーズを把握し、新技術や新製品の創出に向けた研究開発を促進するため、専任コーディネータの体制を充実させ、課題解決に向けた産学、産産の連携を支援するとともに、「きらめき岡山創成ファンド」による助成を通じ、研究開発等を支援していくことで、新産業・新事業の創出に繋がりました。特に自動車関連企業に対して、自動車メーカーや次世代自動車技術の動向を把握し、開発力、生産性、営業力の向上を促し、競争力を高める支援をしました。

製造業の下請取引支援では、「ものづくり県おかやま」を県内外へアピールするとともに県外の大手メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図るために「おかやまテクノロジー展（O T E X）2018」をコンベックス岡山で2日間開催しました。

また、個別企業ごとにマッチする取引先を紹介するとともに、発注企業のニーズに応えるため、大都市圏や個別での商談会、大手企業を対象とした展示商談会等の開催、国内外の展示会への出展支援を行い、効率的なマッチングの場を設けることで、多くの成約につなげることができました。

さらに、主に大都市圏の発注案件を開拓するために関東地区、東海地区、関西地区に広域専門調査員を設置し、受注機会の拡大に努めました。

新設したプロジェクト推進部門では、「岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点」及び

「岡山県エキスパート人材支援センター」が、都市部の大手企業等で豊富な経験を有する「プロフェッショナル人材」や高度な専門技術・技能を保有する「エキスパート人材」と、人材確保に悩む県内中堅・中小企業とのマッチングを支援しました。

「岡山県よろず支援拠点」では、本部並びに岡山及び津山のサテライトオフィスに加えて、新たに倉敷へサテライトオフィスを開設し、夜間や休日でも相談者が利用できる環境の整備を進めるとともに、関係機関と連携して「出前よろず支援拠点」を充実するなど、県内中小企業等の課題解決に努めたところであります。

事業再生や経営改善に取り組む中小企業に対しては、「岡山県中小企業再生支援協議会」事務局として、これまで抜本的な再生事業を数多く生み出してきたところであり、今年度も引き続き、関係機関と協議・連携を進めながら質の高い企業再生に取り組んだところであります。また「岡山県経営改善支援センター」を活用して、経営改善計画及び早期経営改善計画の策定支援やそのフォローアップも実施しました。

さらに、事業引継ぎに関しても、「岡山県事業引継ぎ支援センター」において、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を図りました。

総務部事業では、企業からの人材育成のニーズに応えるため、経営者・新入社員といった階層別に経営管理・労務・生産・財務など体系的カリキュラムを整備し、専門人材やビジネスリーダー向けの研修を開催することで、産業人材の育成に取り組みました。

また、グローバル支援として、海外へ留学する県内の日本人学生に対して、留学先での交流や様々な実践活動を県や国の施策を活用しながら積極的に支援することで、グローバルな環境下で活躍できる人材への成長を後押ししました。加えて、海外からの留学生を企業のグローバル展開に資するビジネス人材へと育成するとともに、県内企業との就職マッチング等を支援することで企業の海外における事業展開の促進を支援しました。

情報化支援に関しては、ＩＴによる経営合理化、経営基盤強化を図るために、最新動向などを取り入れたセミナーや業務に役立てることができる研修会を開催しました。

また、県内支援機関と緊密な連携を図り、情報を共有しながら、有益な政策情報、セミナー情報、イベント情報等のタイムリーな発信に努めました。

さらには、県内工業技術の向上や人材育成に資するため、「テクノサポート岡山」の指定管理者として、適切な貸会議室の管理・運営を行うとともに、利用者の拡大にも努めました。

このように平成 29 年度においても当財団では、「頑張る中小企業の応援団」として、県内企業の皆様に各種の事業を幅広く利用していただけるよう、他の支援機関をはじめ金融機関、研究機関、大学等とも連携を密にしながら、総力を挙げてニーズに即した事業の遂行に取り組んだところであります。

IV 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

中小企業支援法に基づく岡山県中小企業支援センター及び中小企業経営力強化支援法に基づく認定経営革新等支援機関として、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら窓口相談、創業、販路拡大、経営革新及び経営力向上に向けた取組を支援しました。

1 岡山県中小企業支援センターの運営

（１）総合相談窓口の運営（県委託事業他）

- ① 中小企業が抱える経営・生産管理等に関する幅広い課題について、窓口、電話、訪問及び「しんきん合同ビジネス交流会」等の各種相談会において相談に対応しました。

・相談件数 1,276 件（686 社）

- ② 事業説明会の開催を通じて財団事業の周知を図りました。さらに個別相談会を開催し、中小企業の各種経営課題について相談対応を行いました。

・事業説明会・個別相談会の開催 1 回（事業説明会：125 人、個別相談：7 件）

- ③ 中小企業支援センター事業等県制度だけでなく、中小企業庁が運営する総合支援ポータルサイト「ミラサポ」に搭載された専門家派遣システムも活用しつつ、中小企業診断士等の専門家と連携して中小企業が抱える経営課題の解決を支援しました。

・専門家の派遣 121 社（376 回）

<内訳>

岡山県中小企業支援センター専門家派遣制度「成長企業等支援事業」 17 社（44 回）

岡山県中小企業支援センター「中小企業 BCP 策定支援事業」 3 社（7 回）

岡山県中小企業支援センター「自動車関連産業生産性向上等支援事業」 3 社（11 回）

県委託「事業承継促進事業」 7 社（14 回）

県委託「A型事業所経営改善応援事業」 2 法人（5 回）

県委託「経営革新推進事業」 16 社（60 回）

県委託「起業家人材育成支援事業」 26 社（78 回）

「ミラサポ」専門家派遣システム 10 社（24 回）

備中県民局委託「全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業」 20 社（78 回）

岡山市委託「ハンズオン支援事業・見本市出展支援事業」 5 社（17 回）

岡山市委託「ハンズオン支援事業・ブランド力向上支援事業」	4 社（ 16 回）
自主事業「設備貸与推進事業」	8 社（ 22 回）

- ④ 中小企業向けに BCP（事業継続計画）及び情報リスク管理の専門家を講師とするセミナーを開催し、普及啓発に取り組みました。また BCP 策定に意欲を有する中小企業を対象に専門家派遣を行い、県内中小企業の BCP 策定を支援しました。

・ BCP 普及啓発セミナー	1 回（69 人）
・ 専門家による BCP 策定支援	3 社（7 回）※再掲

- ⑤ 県内自動車関連企業に対し、自動車業界の潮流や国内自動車メーカーがサプライヤーに求める技術ニーズや部品品質等に関するセミナーを開催しました。

また、個別支援が必要な自動車関連中小企業を対象に専門家派遣を行い、生産性向上等の課題解決を支援しました。

・ 自動車関連企業競争力向上セミナー	1 回（85 人）
・ 専門家による生産性向上等支援	3 社（11 回）※再掲

（2）事業承継の支援（県委託事業）

事業引継ぎ支援センター等と連携し、事業承継に関する普及啓発と課題解決を支援するため、専門家によるセミナー、個別相談会及び研修会を開催しました。

また、公認会計士及び中小企業診断士等の専門家を派遣し、事業承継計画策定支援のほか事業承継に向けた課題解決を支援しました。

・ 事業承継シンポジウム&個別相談会の開催	3 回 (岡山会場：51 人、倉敷会場：23 人、津山会場：34 人)
・ 事業承継計画策定研修会の開催	1 コース (第 1 回：24 人、第 2 回：21 人、第 3 回：19 人、第 4 回：13 人)
・ 専門家派遣	7 社（ 14 回）※再掲

（3）A型事業所経営改善応援事業（県委託事業）

就業継続支援 A 型事業所経営者向けセミナーを開催するとともに、専門家を活用したモデル事例を策定しました。

・ セミナー及びグループワーク・意見交換会	1 回（ 90 人）
・ 専門家派遣	2 法人（5 回）※再掲

(4) 後継者の育成（自主事業）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識醸成を促す「後継者育成塾（第12期）」を開催し、塾生21人に対して研修を行うとともに塾生間のネットワーク形成を支援しました。

また、修了生で構成する「吉備継成会（169人）」の活動を支援しました。

- ・後継者育成塾の開催 1 コース（20 回）
- ・吉備継成会の開催 8 回

2 経営革新の支援

(1) 経営革新計画の承認支援（県委託事業）

中小企業者等の作成した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行いました。

また、経営革新に関心のある中小企業等を対象に経営革新セミナーを開催することで、制度利用の一層の促進を図るとともに、革新計画終了企業のうち成果が顕著であり、他の模範となる企業を表彰するなど、総合的な支援を実施しました。

- ・審査及び指導助言 118 件
- ・経営革新セミナーの開催 1 回（134 人）
- ・経営革新企業表彰の実施 1 回（グランプリ 1 社、優秀賞 2 社）

(2) 経営革新計画の推進（県委託事業）

経営革新計画の策定や新事業展開に必要な人材を、派遣会社を通じて派遣し、経営革新計画の推進を支援しました。

また、経営革新計画の策定や検証・改善に必要な中小企業診断士等の専門家を派遣しました。

- ・人材の派遣（4 ケ月） 10 社（10 人）
- ・専門家派遣 16 社（60 回）※再掲

(3) 経営革新企業の「稼ぐ力」向上支援（県委託事業）

経営革新計画の策定段階において、実践的なマーケティング戦略講座を実施し、マーケティング人材の育成を図るとともに、経営革新計画の承認を得て取り組む事業に対し、技術力等を評価し、信用力の向上を支援しました。

- ・マーケティング戦略講座（2日間） 1コース（第1回28人、第2回25人）
- ・技術力等評価 5社

3 創業の支援

（1）創業後のフォローアップ支援（民間委託・自主事業）

国の創業補助金を活用し新たな起業・創業や第二創業を行った者に対し、事業化及び収益状況等を調査し、必要なフォローアップを行いました。

- ・事業化等状況報告書及び決算書の徴求、報告内容確認及び補助金支給後報告書による（独）中小企業基盤整備機構への報告
- ・創業者等において納付すべき収益が発生した際の補助金返納手続
- ・事業廃止承認申請書、登録変更届の受理、記録

（2）女性創業者の育成支援（県委託事業）

男女共同参画推進センター（ウィズセンター）内に設置されている女性創業サポートセンターにおいて創業を目指す女性を対象に、創業を成功させるために必要な知識や技術を習得する研修を開催するとともに県内の女性起業家との情報・意見交換の場の提供及び各種相談への対応等を行い女性の創業を総合的に支援しました。

- ・相談件数 271件
- ・女性創業塾の開催（5日間） 2回
（初級 Basic コース：20人、中・上級 Step up コース：21人）
- ・女性創業セミナー・交流会の開催 2回（45人、46人）

（3）起業家人材の育成支援（県委託事業）

起業予定者を対象に研修を企画・実施し、ビジネスに関するノウハウや基礎知識、各種専門知識の習得を促すほか、フォローアップのための創業セミナー及び個別相談会を開催しました。

また、創業後の不安定な時期の創業者にそれぞれの課題に応じた専門家を派遣し、フォローアップを行いました。

- ・起業家育成研修（10日間） 1回（24人）
- ・創業&フォローアップセミナー 1回（参加者66人、個別相談16件）
- ・専門家の派遣 26社（78回）※再掲

(4) ベンチャー企業の育成支援（県委託事業）

成長が期待されるベンチャー企業を対象に、ハンズオン支援を行うとともにベンチャーキャピタルや金融機関とのマッチング会等を通じて、ビジネスパートナー等との出会いの場を提供し、事業発展を支援しました。

- ・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会

2 回（参加企業 第 1 回 5 社、第 2 回 5 社）

(5) ベンチャービジネスの推進（県委託事業）

創業者のネットワークを促す「創業者サロン」を開設・運営し、互いの知識・技能を学び、異業種交流を通じた経営者としての資質向上、企業の成長・安定化を支援しました。

また、創業支援機関、金融機関と連携し県内で起業意欲を有する個人や団体から新規性・独創性のあるビジネスプランを全国募集し、ビジネスプランコンテストを実施しました。優秀なプランについては、起業家支援に関心を有する 54 企業・団体のサポーターとマッチングを行い、サポーター企業の強みを生かしたコンサルティング、メディア展開、事業連携等のサポートに繋がりました。

- ・創業者サロン

会員数 108 人（平成 29 年度末時点）

定例会 8 回

- ・ビジネスプランコンテストの開催

1 回（応募件数：72 件）

11 名のファイナリストに対して、最終的に 39

企業・団体が合計 122 件のサポーター賞を授与

(6) コミュニティ・ビジネス創業スクール（美作県民局委託事業）

美作地域の創業予定者を対象に、コミュニティ・ビジネスの専門家による講演会及び情報交換会、創業スクール開催及び個別相談対応を行いました。

- ・創業&フォローアップセミナーの開催

1 回（64 人）

- ・コミュニティ・ビジネス講座&ワークショップ（4 日間）

1 回（19 人）

- ・コミュニティビジネスプラン・コンテスト受賞者の創業・事業拡大に係る相談支援

19 件

4 販路開拓・拡大支援

(1) 新商品の販路開拓支援（県委託事業、県補助事業）

優れた新商品・サービス等を有するにもかかわらず、メーカーや小売店等との接点がなく、販路開拓ができていない中小企業等を支援するため、全国規模での県産品の販路開拓支援を行いました。

また、県内企業と岡山県にゆかりのある首都圏在住の企業経営者（岡山ビジネスサポーターズ）、ディーラー、バイヤー等とのネットワークを構築し、販路開拓に関する助言により販路支援を行いました。

- ・ブラッシュアップ研修 1 回（44 人）
- ・第 23 回グルメ&ダイニングスタイルショー春 2018 への出展支援
1 回（18 社）※備中県民局事業含む
商談件数 6,732 件、商談成立 10 件
（本事業分 商談件数 4,569 件、商談成立 8 件）
- ・岡山ビジネスサポーターズ・ミーティングの開催 2 回（延べ 138 人）

(2) 新商品の県内展示商談会支援（県委託事業）

新商品を有しながら販路開拓に課題を抱える県内中小食品製造業者等を対象に、県内外のバイヤーとの個別商談の場を提供する展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援しました。

- ・おかやま新商品フェスタ 2018WINTER 販路開拓商談会の開催
1 回（参加セラー72 社、参加バイヤー44 社）
個別商談件数 357 件、商談成立 26 件

(3) 「食」と「アグリ」に関する商品の販路開拓支援（民間委託事業）

「食」と「アグリ」をテーマに、県内中小企業等の持つ優れた新商品・オリジナル商品を展示するとともにバイヤーとの個別商談を行う展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援しました。

- ・集合プレゼンテーション研修 1 回（52 名）
- ・トマトアグリフードフェアの開催 1 回（1,551 名）
展示商談会 出展 71 団体（70 ブース、うち 42 ブースで商品販売）
商談成立 28 件
個別商談会 セラー105 社、バイヤー61 社（商談件数 438 件、商談成立 62 件）

(4) 東京サポートデスクの設置（自主事業）

岡山県東京事務所内に県内中小企業等のためのサポートデスクを設置し、プロモーターが首都圏での販路開拓、ビジネスマッチングを支援しました。

- ・ 県内中小企業の首都圏での販路開拓支援
- ・ 首都圏バイヤー訪問等情報収集

(5) 台湾・香港での「農林水産物食品」輸出促進事業 及び海外への「農林水産物・食品」販路開拓支援事業（県委託事業）

新たな販路として海外市場への展開を目指す県内農業団体や中小企業等が有する農林水産物及びその加工品の販路開拓を支援するため、セミナーや研修の開催、香港・国内での見本市への出展支援及び台湾のスーパーでのテストマーケティングを支援しました。

- ・ 台湾「岡山フェア」開催
1 回（台湾シティスーパー3 店舗）
出展 10 社、65 商品
- ・ 香港 Food Expo2017 出展
1 回（出展 8 社）
販売スペース 出展 4 社、売上高 2,665 千円（商談件数 67 件、商談成立 2 件）
商談スペース 出展 4 社、商談件数 121 件、商談成立 3 件（売上高 215 千円）
※商談スペースの販売は最終日のみ
- ・ FOOD EX JAPAN 2018 出展
1 回（出展 10 社）
商談件数 1,541 件、商談成立 2 件

(6) 香港での「農林水産物・加工食品」輸出促進事業（県委託事業）

香港のスーパー等でテストマーケティングを行い、食品の輸出を目指す企業等の販路開拓を支援しました。

- ・ イオン香港「鳥取岡山観光物産展」開催
1 回（イオン香港コーンヒル店）
出展 13 社、64 商品 売上高 3,202 千円

(7) 備前おかやま販路開拓支援事業（備前県民局委託事業）

備前地域のものづくり企業を対象に講習会及び首都圏での出前展示商談会を開催し、首都圏での販路開拓を図るとともに、個別アドバイスを実施することにより、商品改良等を支援しました。

- ・個別研修 13 社
- ・首都圏出前商談会の開催 2 回
 - ギフト用商材 バイヤー8 社、セラー 6 社 商談件数 40 件、商談成立 4 件
 - 業務用商材 バイヤー6 社、セラー11 社 商談件数 45 件、商談成立 1 件
- ・フィードバック研修会の開催 13 社

(8) 全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業（備中県民局委託事業）

備中地域の中小企業等を対象に専門家によるブラッシュアップやスキルアップのための支援を行うとともに、展示商談会への出展による販路開拓等の支援により、特産品等の売れ筋商品化を図りました。

- ・専門家の派遣 20 社（78 回）
- ・第 23 回グルメ&ダイニングスタイルショー春 2018 への出展支援
 - 1 回（9 社）
 - 商談件数 2,163 件、商談成立 2 件

(9) ハンズオン支援・見本市等出展支援事業（岡山市委託事業）

岡山市内の企業を対象に、専門家が県外見本市出展前の準備段階から出展後のフォローまで一貫した支援を行いました。

- ・専門家の派遣 5 社（17 回）※再掲

(10) ハンズオン支援・ブランド力向上支援事業（岡山市委託事業）

岡山市内の企業を対象に、専門家がブランド力向上やマーケティング、プロモーション等を含む総合的なアドバイスにより、売れる仕組みづくりを支援しました。

- ・ブランド力向上セミナーの開催 1 回（51 人）
- ・個別支援 4 社（16 回）※再掲

5 設備導入支援

(1) 設備貸与（自主事業、割賦損料補助は県補助事業）

創業者、小規模企業者及び中小企業者等が希望する設備を財団が購入し、経営状況に応じた 5 区分の料率（年 1.46%～2.64%）で割賦販売又はリースにより設備導入を支援しました。

また、「経営革新等設備投資促進枠」として、経営革新承認企業及び経営革新計画に準ずる計画を有している者についての設備投資の場合は、特別料率（年 0.73%～1.32%）に設定しました。

（ア）割賦販売	510,944 千円
・経営革新設備投資促進枠	187,446 千円
・割賦（基準枠）	323,498 千円
（イ）リース	35,640 千円
・リース（基準枠）	35,640 千円
（ウ）割賦販売及びリース合計	546,584 千円
・経営革新等設備投資促進枠	187,446 千円
・割賦及びリース（基準枠）	359,138 千円

（２）設備貸与推進事業（自主事業）

設備貸与利用企業に対し、業績回復のきっかけを作る目的で経営改善支援のための専門家派遣を行いました。

経営改善の内容は、外部専門家による経営改善計画の策定や生産活動・営業活動の改善等の支援を実施しました。

・専門家派遣	8 社（22 回）※再掲
--------	--------------

6 中小企業高度化事業に係る診断・助言（県委託事業）

中小企業高度化事業に取り組む協同組合等に対して診断・助言等を行いました。

・診断・助言	12 件
・フォローアップ	13 件

7 高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理（県委託事業）

岡山県中小企業高度化資金、岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データ及び電算システムの保守に関する事務並びにこれら債権に附帯する事務を行いました。

8 競争力強化対策事業（県委託事業）

中小企業者が行う新分野進出や新商品・新サービスの開発・提供、販路開拓・取引拡大等の取り組み、自動車関連、新エネルギー、医療・福祉機器、航空機、新素材、繊維、耐火物、ステンレス加工、バイオマス・CLT、観光関連及び生産性の向上を目的とした設備投資のいずれかの取り組みを行う中小企業者に対し、経営革新資金（県融資制度）の融資実行に必要となる事業計画の審査・推薦と必要に応じたフォローアップ業務を行いました。

また、「岡山県創業ゼロ金利補助金」の利用者に対して必要に応じたフォローアップ業務を行いました。

・経営革新資金に係る推薦	1 件
・製造業投資サポート資金に係るフォローアップ	8 件
・創業ゼロ金利補助金に係るフォローアップ	14 件

V コーディネート機能を発揮し新産業を創出（ものづくり支援部事業）

県内中小企業が、市場ニーズに応じた製品やサービスをより迅速に開発しタイムリーに市場に投入することができるよう、企業や大学などが有する開発ニーズや技術シーズのマッチングによる研究開発から販路拡大までの総合的支援を推進しました。

また、「おかやま次世代自動車技術研究開発センター」で培った成果を活用するとともに、更に県内自動車関連企業の開発力・提案力が向上するよう積極的な支援を行いました。

また、全国大手メーカーに対して県内受注企業の優れた加工技術等を広く PR し、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図った。好評を博した「おかやまテクノロジー展（OTEX）」を引続き開催しました。

1 産学官連携の推進

（１）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用に努めました。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援

（シンポジウム 5 回、講演会等 11 回、視察 3 回、研究室訪問 1 回）

（２）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10 グループ・196 人）の活動をコーディネートし、会員相互の交流の促進や新事業創出の促進を図りました。また、' 82 岡山県技術交流プラザ、' 84 岡山県技術交流プラザ、' 91 岡山県技術・市場交流プラザの活動支援を行いました。

- ・特別セミナーの開催 1 回
- ・「プラザのつどい」の開催 1 回

（３）産学金官連携強化事業

これまで培ってきた、県内金融機関、産業支援機関とのネットワーク、産学金官連携のノウハウを活用しながら、技術動向を収集し、課題の掘り起こしやニーズの橋渡し、技術シーズの紹介等を行いました。また、金融機関が産学連携のパイプ役の役割が担えるよう、技術研修会を開催するとともに、産学金官連携強化に向けたネットワー

ク形成に努めました。

- ・技術動向情報収集 企業 42 件、大学等 18 件、金融機関 24 件、セミナー33 件
- ・課題の掘り起し、情報提供、ニーズの橋渡し、シーズの紹介等 35 件
- ・金融機関向け工作機械研修 4 回（初級 3 回、中級 1 回）
- ・フォローアップセミナー 1 回
- ・競争的資金の申請支援 11 社

2 研究開発の支援

（１）きらめき岡山創成ファンド（基金事業）

新技術・新製品の研究開発や地域産業資源を活用した商品・サービスの販路開拓を助成することにより、県内企業の成長を支援しました。

- ・ミクロものづくり関連助成 2 件（新規 0 件、継続 2 件、助成額 4,966 千円）
- ・地域産業資源活用関連助成 7 件（新規 6 件、継続 1 件、助成額 3,505 千円）
- ・研究開発一般型 5 件（新規 5 件、交付決定額 30,849 千円）
- ・研究開発小規模型 4 件（新規 4 件、交付決定額 4,151 千円）

（２）戦略的基盤技術高度化支援事業（国補助事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、鋳造、鍛造、切削、めっき等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進しました。

- ・実施テーマ 7 件（新規 2 件、継続 5 件、補助額 194,489 千円）
- ① 極短パルスレーザとめっきによるパワー半導体ガラス基板のマスクレス配線工法開発
- ② 高精度にリアルタイムで加工現象(熱・振動・抵抗)をマルチ計測できる技術回転式工具の開発
- ③ バイオマス分解酵素の大量生産を可能とする固体培養技術の実用化開発
- ④ 3次元LSIウェハ薄化を実現する革新的接合工法の開発
- ⑤ 低コスト・高生産性を実現する革新的有機半導体結晶膜塗布装置の開発
- ⑥ 大幅なCO₂低減を実現する世界初バイオマス由来の蓄熱材開発
- ⑦ 自動車用板金プレス部品のノンパラメトリック形状最適化とトポロジー最適化を組合せた軽量化技術の研究開発

(3) 次世代産業育成事業（県委託事業）

新エネルギー、次世代エレクトロニクス等の次世代産業分野進出を目指す県内企業と産学官連携意欲の高い研究者との連携の要となるコーディネータを配置し、技術シーズの掘り起し、大学等とのマッチング、オープンイノベーションの推進、セミナーによる情報提供、県又は国の支援制度の効率的活用等の共同研究開発から事業化に至るまでの一貫した支援を行うとともに、県内企業の次世代産業分野参入と市場獲得を促進しました。

- ・「次世代産業研究開発プロジェクト創成事業費補助金」推進企業支援 10 社
- ・次世代産業（パワー半導体、自動車電子化、IoT と AI、
大学・高専、工業技術センターのシーズ発信）に関連する技術セミナー 4 回開催
計 264 人
- ・企業、大学、公設試等への訪問による情報収集及び発信 220 社・機関
- ・企業と大学、公設試等とのマッチング 33 件
- ・県内企業の研究開発推進に向けた補助金等各種制度の活用支援 19 件
- ・オープンイノベーション啓発セミナー、ニーズシーズ発信セミナー（フレキシブルエレクトロニクスと IoT）、異業種交流会（パワー半導体） 各 1 回、196 人
- ・ビジネス発信会とビジネスプランワークショップを通じた川下企業とのマッチング 3 件

(4) 研究開発促進事業（県委託事業）

今後成長が見込まれる様々な分野に係る県内企業の研究開発等の取組に的確に対応できる専任コーディネータを配置し、新技術・製品開発等の「きっかけづくり」から設計開発力強化、各種支援制度等を活用した研究開発の推進まで、効果的かつ総合的な支援を行いました。

- ・ニーズ把握（98 件）、相談（102 件）、産学官マッチング（15 件） 215 件
- ・きらめき創成ファンド採択企業における事業進捗ヒアリングとフォロー 28 件
- ・支援制度、技術動向収集と企業への提供 31 回
- ・競争的資金の獲得支援 6 社
- ・研究開発等の支援制度説明会の開催 2 回

（岡山会場 119 人、津山会場 45 人）

(5) 難削材加工クラスター形成事業

航空機、医療機器、エネルギー関連機器など、今後成長が見込まれる分野への対応力を強化し、これらの分野で求められるチタン合金等の難削材の加工技術の高度化を促進するため、先進技術のセミナーや、加工体験をベースに切削理論を学ぶ実践的な研修を実施しました。

・ 難削材加工技術スキルアップ研修 (CAM)	1 回
・ 難削材加工技術スキルアップ研修 (切削加工)	1 回
・ 難削材加工トライアル	5 社
・ 切削加工技術セミナー	2 回

(6) 医療機器開発プロモート事業 (県委託事業)

「医療機器開発プロモートおかやま」の活動をベースに、成長分野である医療機器分野への新規参入を加速させるとともに、医療機器メーカー等とのマッチングによる市場性の高い医療機器開発や取引拡大の促進を図りました。

・ 県内医療機器メーカー見学会	1 回
・ 医療機器県外製造販売企業との情報交換会	1 回
・ 技術展示・マッチング交流会 in 御茶ノ水	20 社参加
・ 関東経済産業局 医療機器・ものづくり商談会	2 回参加
・ 医療機器、福祉機器商談件数	45 件
・ MEDTEC2017 出展支援	12 社

(7) 技術振興事業 (基金事業)

ものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進するために、研究開発や経営革新等、業種転換を進める中小企業の総合的な支援を行うことにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図りました。

- ・ 分野別技術研究会や異業種交流等の活動支援 ※再掲

(8) 自動車産業支援事業 (県委託事業)

三菱自動車工業(株)と日産自動車(株)との資本業務提携や自動運転技術を始めとする次世代自動車技術の研究開発が進むなど、本県の基幹産業である自動車産業を取り巻く環境が変化している中、県内企業の新技術や新製品の研究開発やこれらの提案力の向上、受注増に向けた取引先の多様化を支援し、グローバルに通用する提案力と競争力を持つ

企業への成長を促しました。

① 自動車産業育成支援

・岡山県自動車関連企業ネットワーク会議の設立・運営支援	81 社
・次世代自動車技術に関するセミナー	2 回
・各種分科会による共同研究の推進	7 回
・マーケティング力向上研修会	1 回
・オートモーティブワールド 2018 出展支援	5 企業・団体
・電動化技術セミナー及び部品展示説明会	1 回

② 自動車開発技術ハンズオン支援

・自動車関連企業向け生産性向上セミナー	1 回
・自動車メーカー工場見学	1 回
・現場改善リーダー育成研修	2 社

③ 3D-CAD 研修会

・NX-CAD 研修	2 回
------------	-----

(9) ものづくり産業への工業デザイン導入支援事業（県委託事業）

様々な情報が多様なルートで提供され、製品の外観や機能が顧客への訴求力を強めている中、自社製品に工業デザインを活用する県内ものづくり企業が少ないことから、その導入を支援することにより、製品の高付加価値化、差別化、ブランド力の向上を促進しました。

・ものづくり・デザイン活用セミナー	1 回
・ものづくり企業とデザイナーとのマッチング	6 社

(10) 中堅企業成長支援モデル事業（県委託事業）

潜在的成長力のある企業に、専任のプロジェクトマネージャーが伴走支援し、マーケティング志向の事業戦略である「売れるものづくり」の仕組みを加えることで、製品開発や取引拡大等に係る課題を解決し、売上高及び付加価値の向上に寄与しました。

・プロジェクトマネージャーによる伴走支援	4 社
----------------------	-----

(11) 地域中核企業創出・支援事業（国委託事業）

地域中核企業の整備、新技術・サービスの開発や活用、事業化戦略の策定や販路開拓の各段階において、支援人材の人脈や知見、各種支援施策・支援機関等の全国のリソー

スを活用しつつ、新たな地域中核企業を創出支援しました。

- ・「次世代情報発信杭」ソリューションビジネスの構築

3 産業クラスター計画の推進

(1) 循環型産業クラスター計画の推進（県委託事業）

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット（B-net）を設置し、産学官の連携により、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーの開催などの活動に取り組みました。

また、企業の研究開発や施設整備等に対する助成、B-net で生み出された新技術や新商品の販路拡大に向けた全国規模展示商談会への出展に対する支援等を通じて、循環型社会の形成を目指す企業、大学等の 3R に向けた取組を促進しました。

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ・中四国環境ビジネスネット委員会の開催 | 1 回 |
| ・B-net フォーラムの開催 | 1 回 |
| ・セクション会議の開催 | 5 回 |
| ・エコプロ 2017 出展支援 | 8 社・機関 |
| ・岡山県資源循環推進事業承認審査委員会 | 1 回 |
| ・情報収集訪問企業（216 社）、マッチング件数（54 社） | |

(2) バイオプラスチッククラスター活動の推進（県委託事業）

環境に優しく市場拡大が期待されるグリーンバイオ（生物機能利用技術）産業について、産学官が連携し、基礎となる技術や製品開発の推進、バイオマスプラスチックの利用拡大に向けた普及啓発等を通じて、グリーンバイオ産業群の育成及び資源循環型社会の構築を促進する岡山バイオマスプラスチック研究会の活動を推進しました。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・セミナー、講演会の開催 | 1 回 |
| ・セルロースナノファイバー（CNF）実用化セミナーの開催 | 1 回 |

(3) 福祉用具開発クラスター活動の推進（自主事業）

福祉用具等の開発・改良・商品化・販路開拓等に向け、製品や技術の PR・研修・情報交換の場を設けるなどの活動を通じて、利用者が真に必要としている福祉用具の開発・普及を促進するとともに、新規参入を促しながら福祉関連産業の振興を図ること

を目的に、ハートフルビジネスおかやまの活動を推進しました。

- ・商品化支援委員会及びワークショップ 2 回
- ・セミナー、講演会 2 回
- ・マッチングプラザへの出展支援 11 社

(4) 自動車関連企業クラスター活動の推進（自主事業）

意欲ある県内自動車関連企業 81 社が自動車産業の新たな技術動向に関する最新情報を共有し、技術力や生産性の向上、人材育成、取引拡大等を主体的に取り組むことを目的とした「岡山県自動車関連企業ネットワーク会議」の活動を推進しました。

- ・自動車関連技術の最新動向等の講演会、セミナー 2 回 ※再掲
- ・分科会（経営、人材、開発技術、生産技術） 7 回 ※再掲

4 岡山リサーチパークの周知活動

(1) 小中学生（家族）向け一般公開（基金事業・県委託事業）

岡山リサーチパークを中心とした研究活動を一般に公開することで、広く県民に存在を周知するとともに、新技術のすばらしさ、科学技術の重要性の認識を目的に、主に小中学生を対象とした日頃体験できない科学技術の発見・感動の場を提供しました。

- ・おもしろ体験でえ〜の開催 2 日間
(来場者延べ 3,000 人)

(2) 岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業（基金事業・県委託事業）

岡山県内研究者の技術シーズをテクノサポート岡山にて公開することで、県内研究者と県内企業とのマッチングを進めました。

- ・岡山リサーチパーク研究・展示発表会の開催
展示 53 テーマ、プレゼンテーション 13 テーマ、参加 224 人

5 下請企業の取引あっせん

(1) 取引情報の収集提供（県補助事業）

県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広く PR し、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努めました。

また、関東、東海、関西地区に広域専門調査員を設置し、自動車関連産業等県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘することで、広域的な受注機会の拡大を図りました。

(2) 国内商談会等の開催

県外発注企業を岡山県に招聘し、県内中小企業等との面談を行う広域商談会の開催や、全国規模の見本市への出展、本社・工場が集約している大都市圏へ発注案件に適合する県内中小企業と出向き商談を行う現地商談会等の開催により、新規取引先の開拓支援を図りました。

また、自動車用オートマチックトランスミッション等を製作しているジャトコ(株)等に対して、県内中小企業の優秀な技術や製品をPRする展示商談会を開催しました。

① 広域商談会の開催	1 回（県補助事業）
② 中国ブロック合同商談会の開催(岡山)	1 回（県補助事業）
③ 大都市圏企業との現地商談会の開催	5 回（県補助事業）
④ 機械要素技術展への出展（東京）	1 回（県補助事業）
⑤ 名古屋機械要素技術展への出展	1 回（県補助事業）
⑥ 大企業を対象とした展示商談会の開催	1 回（県補助事業）
⑦ 個別商談会の開催	5 回（県補助事業）
⑧ 個別展示商談会の開催	1 回（県補助事業）
⑨ エアロマート名古屋 2017 への出展	1 回（県委託事業）
⑩ 機械要素技術展への出展（東京）	1 回（岡山市委託事業）
⑪ 関西機械要素技術展への出展	1 回（岡山市委託事業）

(3) 海外における市場開拓の支援（県補助事業）

県内ものづくり企業の海外での販路開拓を支援しました。特に多くの企業が生産拠点として進出している東南アジア地域を中心に、展示会出展支援を行いました。

・海外展示会への出展	2 回
------------	-----

(4) 広域専門調査員の設置（県補助事業）

県外企業を訪問し、自動車関連産業等に係る県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘するとともに、現地商談会等の調整などを行うため、関東、東海、関西の各地区に1名の調査員を設置しました。

・ 関東地区担当	1 名
・ 東海地区担当	1 名
・ 関西地区担当	1 名

(5) 岡山県自立化推進研究会等の活動支援（自主事業）

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」（4 グループ 77 社）及び異業種交流・共同受注グループ（3 グループ 55 社）の活動を支援しました。

① ‘90 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
② ‘92 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
③ ‘94 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
④ ウイング岡山 21	例会 6 回
⑤ トラストネット未来	例会 2 回
⑥ ウイングウィン岡山	例会 5 回
⑦ メディカルネット岡山	例会 4 回

6 ミクロものづくり岡山ブランドの形成促進（県委託事業）

「ミクロものづくり岡山」のブランド形成を加速させるとともに企業の競争力強化を図るため、展示会出展や「ミクロものづくり岡山作品コンテスト」で優秀賞を受賞した企業 PR 冊子（フリーペーパー）を作成し、先端技術を有する県内企業を国内外に発信しました。

- ・ 機械要素技術展への出展（東京） ※再掲 1 回
- ・ ミクロものづくり岡山作品コンテスト受賞企業の PR 冊子（フリーペーパー）の作成
- ・ アンケート調査事業

7 精密ものづくり加工技術展示商談会事業（県委託事業）

県内ものづくり企業が一層の販路拡大に取り組むため、「ものづくり県おかやま」として県下全域の優れた精密加工技術力及び技術開発力を一堂に集め、県内外のメーカー等に向けて PR を行いました。

- ・ おかやまテクノロジー展 (OTEX) 2018 の開催 172 社・機関出展

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間4回（5月・8月・11月・2月）、対象企業750社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成しました。

9 航空機産業クラスターの形成推進（県委託事業）

一貫生産の進む航空機業界において体制構築の可能性を探りながら、本県のポテンシャルの高さをアピールすることにより、西日本における航空機産業拠点の構築を目指すことを目的とし、展示会への出展支援を行いました。

- ・パリエアショー視察・調査
- ・エアロマート名古屋への出展 ※再掲
- ・国内大手航空機関連メーカー及びサプライヤーの工場視察

※平成29年度下請企業の取引あっせん実績

・展示会・商談会	22回（内、海外2回）
・あっせん件数	4,062件
・成約件数	336件
・当初成約金額（3カ月ベース）	1,268,620千円

10 知的財産を活用したものづくりの推進

（1）知財総合支援窓口の設置（国請負事業）

中小企業等が抱える知的財産に関する課題の解決を支援するため、一般社団法人岡山県発明協会と連携して「岡山県知財総合支援窓口」を設置しました。

窓口には4人の窓口支援担当者を配置し、必要により弁理士等知財専門家と連携しつつ、窓口または現地にて課題解決を支援しました。

- ・窓口支援担当者が対応した相談案件数 2,170件

知財専門家と連携した支援	391件
〔内、知財専門家（弁理士等）の窓口支援	185件〕
〔内、知財専門家の派遣等	206件〕

- ・電子出願端末利用件数出願件数 155件

（内、特許願25件、実用新案登録願4件、意匠登録願7件、商標登録願22件、その他97件）

(2) 外国出願に関する支援

中小企業者等の海外展開支援の一環として、知的財産を外国出願する際の経費を補助しました。

・ 特許	3 件
・ 実用新案	1 件
・ 商標	5 件
・ 補助金額	2,867 千円

VI 国等のプロジェクト支援（プロジェクト推進部事業）

岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点及び岡山県エキスパート人材支援センターは、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による「攻めの経営」やエキスパート人材の活用による「生産性の向上」を支援しました。

岡山県よろず支援拠点は、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら、創業、販路拡大、経営革新、ICTの活用等の支援に取り組みました。

また、岡山県中小企業再生支援協議会、岡山県経営改善支援センター及び岡山県事業引継ぎ支援センターの活動を通じ、企業再生、経営改善及び事業引継ぎの促進に努めました。

1 プロフェッショナル人材のマッチング支援（県委託事業）

成長戦略の具現化に必要な人材の確保に悩む県内中堅・中小企業に対し、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行い、新事業の展開や新技術の開発など県内企業の経営革新を図りました。

また、地域で高まるプロフェッショナル人材ニーズに対応するため、都市部大企業等と連携した人材交流を推進しました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	26 社
・相談対応件数	488 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ マッチング成立	132 社（200 人） 44 件
・大企業への人材ニーズの取次ぎ 大企業との人材交流の成約	13 件 1 件

2 エキスパート人材のマッチング支援（県委託事業）

県内中堅・中小企業の生産性向上や製品・サービスの高付加価値化を図ることを目的に、岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点、民間人材ビジネス事業者、産業支援機構及び金融機関と連携し、県内企業とエキスパート人材とのマッチング支援を行いました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	26 社
・相談対応件数	366 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ マッチング成立	109 社（196 人） 21 件

3 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）

売上拡大、生産性向上等の経営相談に応じ、中小企業・小規模事業者の課題を分析し、一定の解決策を提示するとともに、フォローアップを実施しました。

相談者の利便性向上のために、「岡山サテライトオフィス」及び「津山サテライトオフィス」に加えて、「倉敷サテライトオフィス」を開所するとともに、「出前よろず支援拠点」として、商工会、商工会議所、市町村及び金融機関と連携して定期的な出張相談を実施しました。

また、「売上アップ」、「販売促進」、「IT活用」等のテーマ別に2名～3名の少人数制の勉強会や、経営知識習得や相談者同士の交流によるビジネスマッチングを促す「よろずCafé」を開催しました。

・相談対応件数	7,441 件
・来訪相談者数	6,180 人
・課題解決件数	511 件
・出前よろず支援拠点の開催	340 件
・よろず勉強会の開催	488 回

4 中小企業等の再生支援

（1）中小企業再生支援協議会による再生支援（国委託事業）

企業の再生や再建に豊富な知識と経験を有するマネージャーによる窓口相談を行うとともに、外部専門家と協力し、再生計画の策定支援を行いました。

・再生計画策定支援	14 件
・フォローアップ件数	118 件
・経営者保証に関するガイドライン利用	3 件

（2）経営改善支援センターによる経営改善支援（民間委託事業）

中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関が実施する経営改善計画策定支援の費用の一部を負担し、中小企業・小規模企業者の経営改善、事業再生を支援しました。

・経営改善策定支援 相談対応件数	573 件
・経営改善計画策定支援件数	29 件
・早期経営改善計画策定支援件数	108 件

(3) 事業引継ぎ支援センターによる事業承継支援（国委託事業）

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える県内中小企業や、これら経営資源を引き継ぐ意志のある県内中小企業の相談に対応するため、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を行いました。

・相談対応件数	199 件
・成約件数	14 件

Ⅶ 産業人材の育成と情報化支援等（総務部事業）

財団の運営及び利用促進のための各種施策を企画推進しました。また、中小企業の階層及び分野別の様々な研修、IT 分野、ISO9001、新入社員合同入社式等に関する研修を企画・開催し、産業人材の育成を支援しました。加えて、財団が実施している各種支援策の PR や県内中小企業の情報などを掲載した情報誌の発行、インターネット上での「産業支援ネットワーク」の運営などを通じて有用な情報の発信を行いました。

1 産業人材の育成

（１）研究開発に必要な人材育成（県委託事業）

自動車産業をはじめとした県内製造業における設計・開発力の強化を図るとともに、電気・電子関連や自動化等の知識の習得により技術力を強化するため、実証講義を開催し、県内企業の人材育成を図りました。

・実証講義	20 コース（204 人）
	役立度 4.00/5.00

（２）生産現場の改善支援（県委託事業）

ものづくり中小企業の生産現場に、合理性を追求したトヨタ生産方式の指導者を派遣し、生産性の向上やコスト削減の助言を行いました。

・現場改善研修の開催	6 社
------------	-----

（３）ものづくり系企業の人材育成（県委託事業）

中小企業の経営者から若手社員までを対象に、階層別研修のほか経営管理・労務・営業・生産・技術など分野別研修を実施し、経営基盤の強化を支援しました。

・産業人材の育成・確保事業の開催	22 コース（366 人）
	役立度 4.59/5.00

（４）サービス産業の人材育成（県委託事業）

サービス産業は、現場で「人」が付加価値を提供する。労働力不足による厳しい事業環境の中、従業員の質を高めるため、スキルアップ研修を実施しました。

・ビジネス人材や女性のスキルアップ研修	19 コース（387 名）
	役立度 4.67/5.00

(5) 新入社員の育成（自主事業）

中小企業に採用された新入社員を対象に、社会人としての心構えやルールを身につけるための、合同研修を行いました。

- ・新入社員合同研修、合同入社式の開催 1 回（17 社・25 人）

(6) ISO 内部監査員の養成支援（自主事業）

ISO9001 を取得している、もしくはこれから取得を目指す内部監査担当者を対象にしたセミナーを行い、企業のマネジメントシステムの構築維持を支援しました。

また新担当者が参加しやすい入門コースの研修も実施しました。

- ・ISO9001 研修（入門コース） 1 回（25 人）
- ・ISO9001 研修（移行コース） 1 回（8 人）
- ・ISO9001 研修（内部監査員養成コース） 1 回（22 人）

2 グローバル人材の育成・確保

(1) 日本人留学生の人材育成支援（県委託事業、民間委託事業）

県内の大学に在籍し、自身の課題をチャレンジ精神と行動力で遂行し、留学先での交流や様々な実践活動を行う日本人留学生に奨学金を交付するとともに、県内企業へのインターンシップを通じて、地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、グローバル化を進める県内企業への就職に繋がりました。

- ・日本人留学生への奨学金の支給 6 人
- ・県内企業へのインターンシップ支援 6 人（6 社）

(2) アジア人留学生を活用した海外展開支援（自主事業）

県内の大学に在籍しているアジアからの留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援しました。

具体的には、県内中小企業者へのインターンシップ、就職マッチング、奨学金の給付等を行い、総合的な支援を行いました。

- ・アジア人留学生への奨学金の支給（36 万円/人） 16 人（うち冠企業分 6 人）
- ・インターンシップ情報の収集・提供 企業 40 社・留学生 49 人
- ・県内中小企業等とアジア人留学生との就職マッチング 企業 49 社・留学生 39 人

3 おかやま産業情報の発行等（自主事業）

財団活動の広報を行うとともに経営の一助としてもらうため、県内企業に対し、財団の実施事業や各種施策等について情報提供する「おかやま産業情報」を発行しました。

- ・おかやま産業情報の発行 年 6 回発行（毎回 4,000 部）

4 中小企業の情報化支援

（1）中小企業の IT 支援（基金事業）

IoT や AI といった分野をはじめ、急速に普及している IT 化の中、中小企業に対して、IT に対する理解を深め、IT を利用した業務効率化を促す講習会を開催した。

中小企業の課題とされている IT 人材の育成や中小企業者からの情報化に関する各種相談に注力しました。

- ・メディア活用セミナーの開催 1 回（56 名）
- ・IT 講習会の開催 6 コース（96 名）

（2）岡山県産業支援ネットワークの運営（県補助事業）

県内中小企業者の IT 対応を促進するために、情報ハイウェイを活用した岡山産業情報の発信拠点（ポータルサイト）を整備・運営し、県内企業情報等のデータベースの構築を図るとともに、有益なイベント情報、各種支援施策等をメールマガジンにより発信しました。

また、IT の最新動向や、有用な事例を紹介するセミナー等を開催しました。

- ・情報セキュリティセミナーの開催 1 回（119 名）
- ・メールマガジンの発行 48 回

5 テクノサポート岡山の施設管理・運営（県委託事業）

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行いました。

- ・会議室利用件数 999 件
- ・技術情報ライブラリー利用者数 2,477 人